

兄弟式日本語ボタシ音素変換標準規格

Brother's Button-to-Phoneme Transfer Standard for Japanese language

(version 2.0 / 2012.03.01)



【はじめに】

この「兄弟式日本語ボタン音素変換標準規格」は、MIDI アコーディオンの左手ボタンと日本語の音素の対応関係を定義する。使用するアコーディオンは ROLAND 社の V アコーディオン「FR-1」シリーズ（72 ベース）を前提にしている。



【シングルボタンでのコントロール】

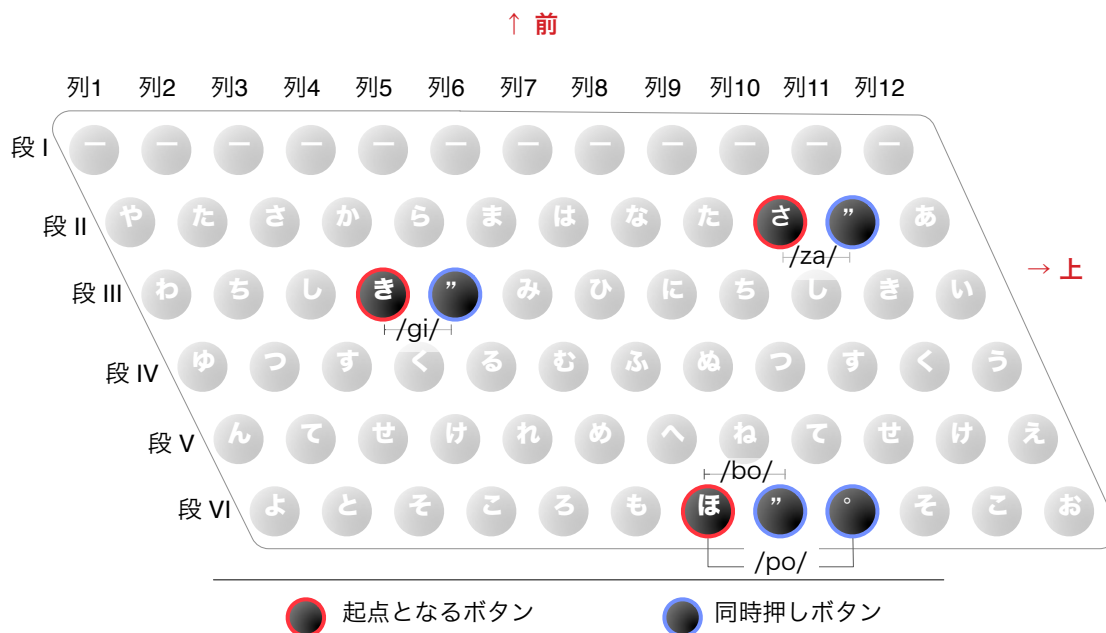
左手ボタンの日本語五十音音素配列は次の図の通り。（段Ⅰは実質的に使用しない）

列 1 の「や、わ、ゆ、ん、よ」以外のボタンの並びは法則的。段Ⅱ＝ア段、段Ⅲ＝イ段、段Ⅳ＝ウ段、段Ⅴ＝エ段、段Ⅵ＝オ段、また奏者から見て上からア行、カ行、サ行…と進んで行く（ただしア行は列 12 のみ）。



【同時ボタンでのコントロール】

- ① **濁音、半濁音の指定** —— 濁音を持つすべての音素ボタンの**右隣ボタンを同時に**押せば濁音になる。八行についてはもうひとつ右隣のボタンで半濁音「パピブペポ」を指定できる。

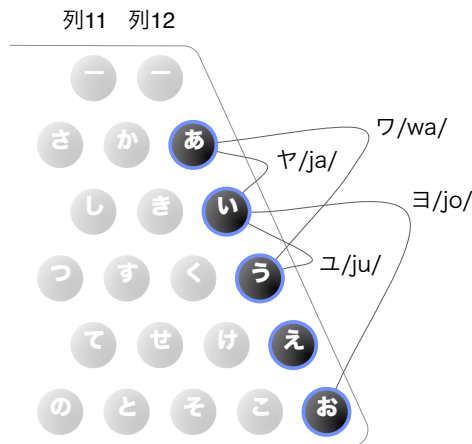


例：ザ /za/、ギ /gi/、ボ /bo/、ポ /po/を同時ボタンで指定している様子

- ② **ヤ、ユ、ヨ、ワの二重ボタン指定** —— 列 12 の以下のボタンを**同時に**押せば、ヤ、ユ、ヨ、ワを指定できる。列 1 の「や」「わ」「ゆ」「よ」ボタンに移動するのが困難なときに使用する。

※ キャ、チュ、ジョなどの拗音は、④で説明する時間差ボタンを使う。

「あ」 + 「い」 → ヤ /ja/
 「い」 + 「う」 → ユ /ju/
 「い」 + 「お」 → ヨ /jo/
 「あ」 + 「う」 → ワ /wa/

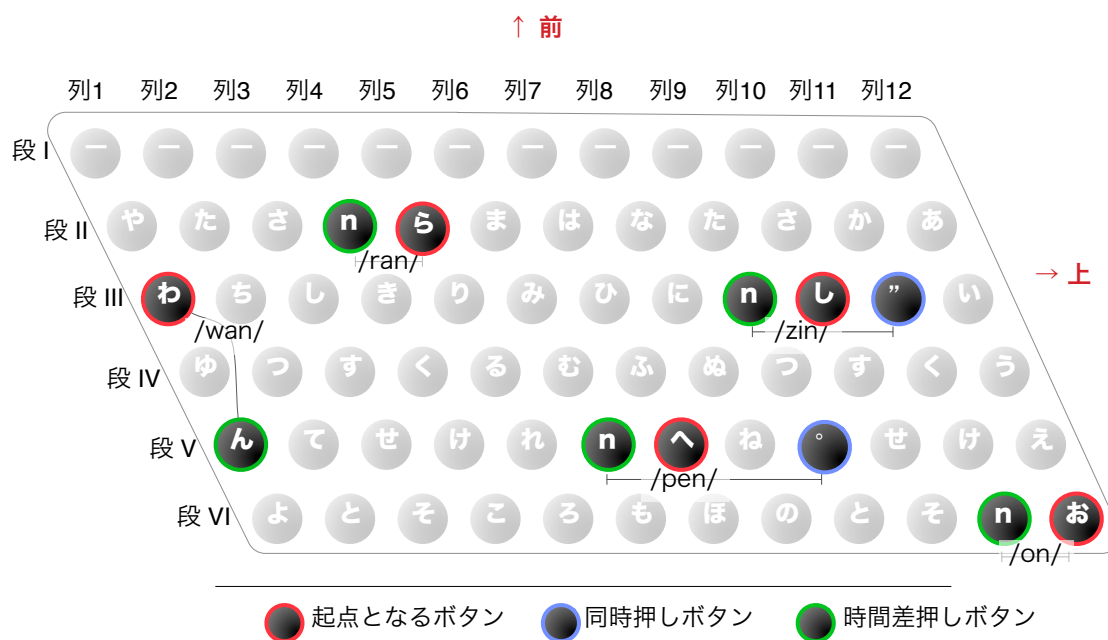


【時間差ボタンでのコントロール】

③ 「ン(n)」への時間差移行

任意の音素ボタンを押さえながら、その左隣ボタンを、時間差をあげて押せば「ン(n)」へと移行する。(時間差とは50ミリ秒以上)

※ 列1には左隣のボタンがないので、V-1の「ん」ボタンを使う

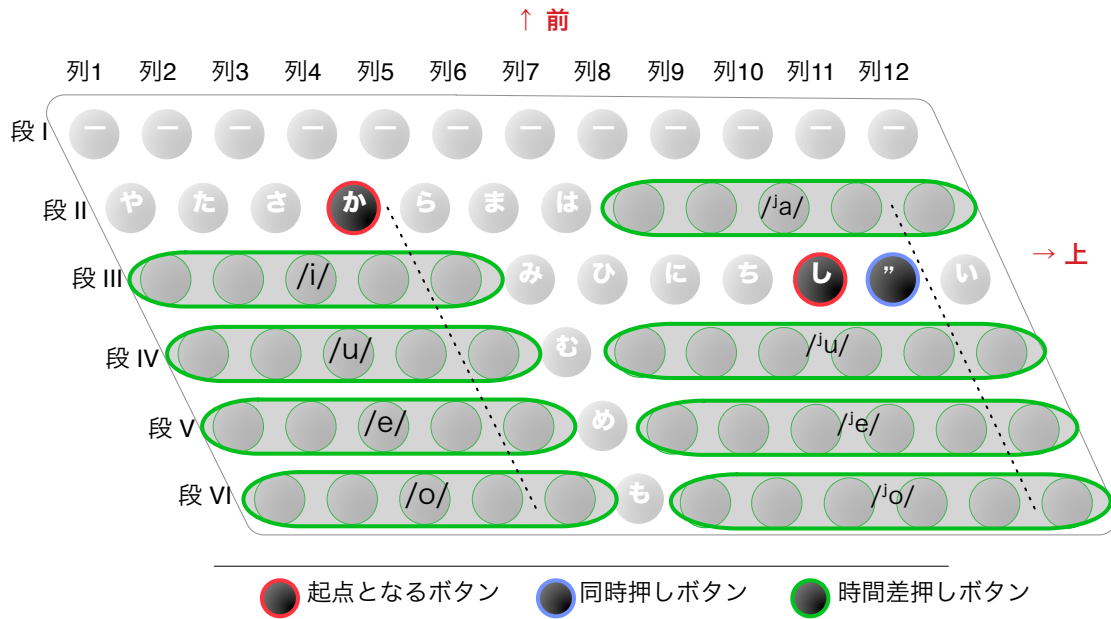


例：ラン/ran/、ジン/zin/、ペン/pen/、オン/on/、ワン/wan/を時間差ボタンで指定している様子

④ 異なる母音、拗音への時間差移行

任意のボタンを押さえながら、近くの**ア、イ、ウ、エ、オ**段ボタンを、**時間差をあけて**押せば、母音をなめらかに変更することができる。(時間差とは50ミリ秒以上)

素早く押せば、「シャ、キュ、チェ、ビョ」などの拗音/ⁱ/や、「ふ」+ア・イ・エ・オ段ボタンのコンビネーションで「ファ、フィ、フェ、フォ」の/ⁱ/も表現できる。



例：カイ、カウ、カエ、カオ、ジャ、ジュ、ジェ、ジョを時間差ボタンで指定している様子